

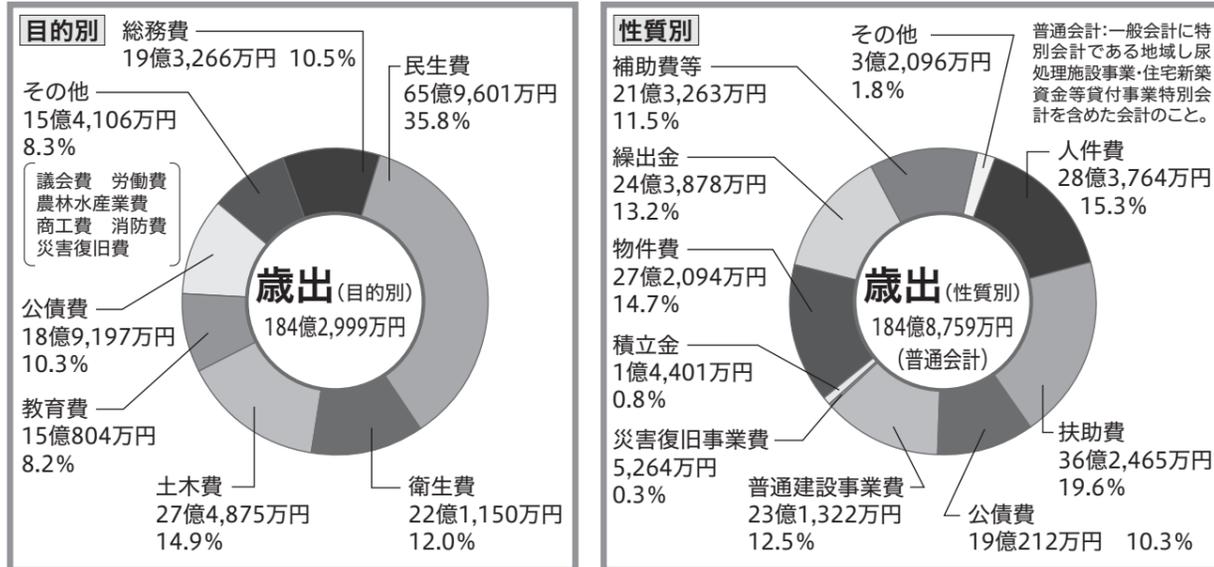


### 3 一般会計歳出

#### 一般会計 歳出

##### 建設事業費が大幅に減少

平成23年度の歳出は前年度に比べ8.4%減少しました。主な要因としては、民生費が障害者自立支援給付や子ども手当の増加に伴い、前年度と比べ4億8,643万円、8.0%の増加となりましたが、土木費が前年度実施したJR福間駅自由通路整備や、JR福間駅西口駐輪場整備の関連経費がなくなったことなどに伴い、前年度と比べ11億5,833万円、29.6%減少したことや、教育費が前年度実施の神興小給食室整備費がなくなったことなどにより前年度と比べ8億5,021万円、36.1%減少したことなどが挙げられます。



### 4 特別会計

#### 特別会計決算

市には、国民健康保険事業や後期高齢者医療事業など6つの特別会計があります。特別会計は、地方公共団体が特定の事業を行う場合に、一般会計とは区別して経理している会計です。平成23年度の決算額は次の表の通りで、全ての会計で黒字となりました。

#### 特別会計

区分	決算額	前年度比
国民健康保険事業	歳入	63億1,923万5千円 7.7
	歳出	63億973万4千円 7.7
後期高齢者医療事業	歳入	7億3,045万9千円 3.9
	歳出	7億954万8千円 1.9
介護保険事業	歳入	36億1,627万6千円 8.6
	歳出	35億6,825万5千円 7.6
公共下水道事業	歳入	33億4,335万8千円 18.0
	歳出	33億2,838万3千円 22.0
地域し尿処理施設事業	歳入	8,145万1千円 △4.6
	歳出	6,551万7千円 △11.0
住宅新築資金等貸付事業	歳入	1,907万7千円 △48.1
	歳出	1,257万7千円 △59.4

### 1 一般会計収支

#### 一般会計決算

##### 2年連続で決算規模は減少

一般会計では歳入が190億685万円、歳出が184億2,999万円でした。歳入から歳出を差し引いた額は5億7,686万円の黒字でした。また、差引額から翌年度に繰り越して実施しなければならない事業の費用、3,653万円を差し引いた額を実質収支といい、一般会計の実質収支額は5億4,033万円となりこちらも黒字となりました。

項目	予算額	前年度比
歳入	190億685万5千円	△7.0%
歳出	184億2,999万4千円	△8.4%
差引	5億7,686万1千円	79.5%

### 2 一般会計歳入

#### 一般会計 歳入

##### 市債の借入、基金からの繰入が大幅に減少

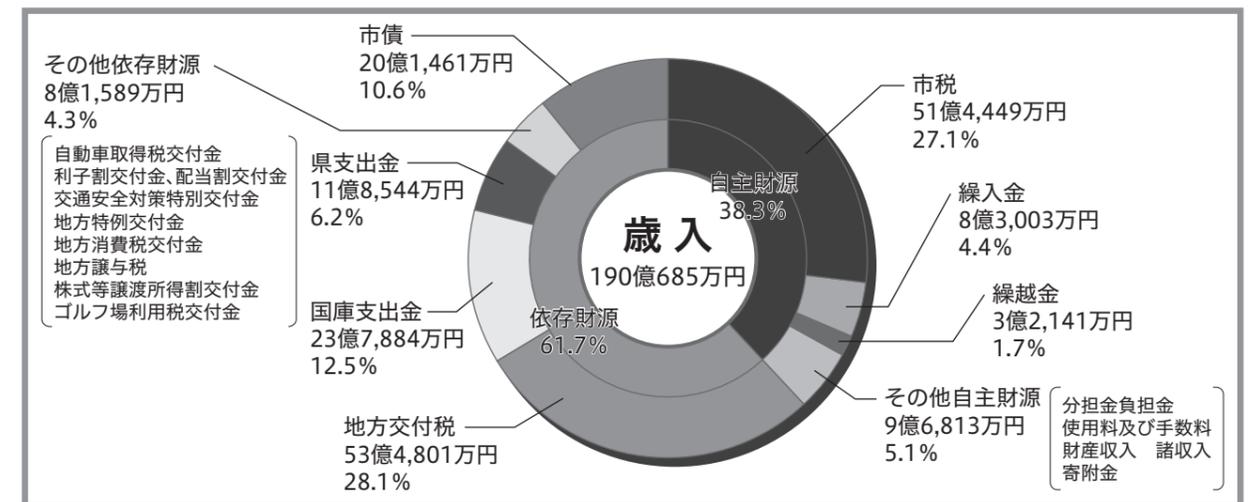
平成23年度の歳入は前年度に比べ7.0%減少しました。主な要因としては、建設事業などが減少したことにより、市債が前年度に比べ9億8,174万円、32.8%の減少、繰入金が6億578万円、42.2%減少したことが挙げられます。

##### 自主財源比率が低く、厳しい財政状況

歳入は大きく分けて自主財源と依存財源があります。自主財源とは市が独自に調達できる収入のことで、市税や、繰入金、使用料や手数料などのことです。一方、依存財源とは国や県より交付される収入のことで、地方交付税や、国・県支出金、市債などがこれに該当します。自主財源の割合が多いほど、財政に市の自主性と安定性が確保されていると言えます。

市の収入で最も大きな割合を占めるのは、市民税や固定資産税および軽自動車税などの市税で、51億4,449万円で、収入の27.1%となっています。市税と並んで大きな割合を占めるのが地方交付税です。地方交付税は国が徴収した税の一部を、自治体が等しくまちづくりができるように、用途を限定せずに一定の割合で交付される交付金です。これは53億4,801万円で28.1%となっています。

歳入については、自主財源である財産収入や繰入金が減額となったことなどにより、自主財源の割合は38.3%、依存財源が61.7%となりました。前年度と比べ自主財源比率は1ポイント減少しており、市の財政状況は厳しいものと言えます。



# 平成23年度の主な事業のいくつかを紹介します



▲福間小校区の郷づくりの拠点として建設された「ふくまりん」

**郷づくり推進事業**  
地域自治を進めるため、市内8地域の郷づくり推進協議会に、運営資金・活動資金として交付金を交付しました。人的支援としては郷づくりマネージャーを7地区に配置し、担当地域において、協議会運営の支援および地域の諸団体との連携を図りました。また、国の交付金を活用して福間地域の郷づくりの拠点整備を行い、市内全8地区で拠点を整備することができました。

**地域分別ステーション整備事業**  
各地域の分別ステーションの施設整備として、雨天時でも分別収集が円滑にできるように、地域分別ステーションの屋根設置6カ所などを行いました。また、コミュニティ助成事業などによりテナントを32張購入し、分別収集時の雨除けなどに活用できるようにしました。

**乳児家庭全戸訪問事業**  
生後4カ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、さまざまな不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供などを行うとともに、親子の心身の状況や養育環境などの把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービスを提供しました。



▲津屋崎小学校内に建設された第2学童保育所

**学校運営協議会推進事業**  
市内小・中学校におけるコミュニティ・スクール導入時に必要な支援策として、非常勤講師の配置などを行い、6月には、全ての小・中学校(10校)がコミュニティ・スクールとしてスタートすることができました。

**学童保育所整備事業**  
学童保育所の待機児童を解消するため、津屋崎第2学童保育所の施設整備および勝浦学童保育所の設置に伴う備品整備を実施しました。

**コミュニティサイクル事業**  
市街地の渋滞緩和や二酸化炭素削減などの環境にやさしいまちづくりを進める取り組みの一環として、また、福津市への観光客の増加、地域の活性化



▲世界遺産登録に向けての会議

**ひとり暮らし高齢者等見守り事業**  
福津市ひとり暮らし高齢者等見守り協議会運営委員会を開催し、市内で活動する「高齢者等見守り活動団体」によるネットワーク構築を行いました。また、ひとり暮らし高齢者などの要援護者に対する見守り活動の充実のため、地域支え合い連絡カードにより収集した情報のデータ管理・ネットワークの連携強化を図る「要援護者システム」を整備しました。

**世界遺産登録活動事業**  
福岡県・宗像市と共同で「宗像・沖ノ島と関連遺産群」として津屋崎古墳群を世界遺産に登録するため、さまざまな調査を実施するとともに、価値検証のための国際会議や沖ノ島・津屋崎古墳群などをPRするための国際シンポジウムを開催しました。

**住宅用新エネルギー設備等設置補助事業**  
新エネルギーの利用を促進するため、市民を対象として住宅用太陽光発電システムおよび家庭用燃料電池(エネファーム)の設置費の助成を行い、二酸化炭素排出量の削減を図ることができました。



▲エネファーム

**原町津丸線有弥の里五差路整備事業**  
大型商業施設の開業により交通量の増加が見込まれる有弥の里入り口にある5差路の交差点を、4差路に改良し、安全で快適な通行を実現するための道路改良を実施しました。



▲福間駅で貸し出されているコミュニティサイクル

を目的とし、身近な交通手段の提案として環境にやさしいコミュニティサイクルの社会実験を福間駅みやじ口第2号駐輪場および津屋崎千軒なごみをステーションとして実施し、会員登録者数401人、貸出回数延べ819台の利用がありました。



## 5 健全化判断比率・資金不足比率

早期健全化基準はクリア

	福津市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 * 1	-※	13.08	20.00
連結実質赤字比率 * 2	-※	18.08	30.00
実質公債費比率 * 3	7.5	25.0	35.0
将来負担比率 * 4	40.2	350.0	

公共下水道事業	
資金不足比率 * 5	-※

※実質赤字比率、連結実質赤字比率及び資金不足比率については、赤字または不足とも生じないため「-」と表示しています。

- \* 1 普通会計の赤字額から財政運営の深刻度をみる比率
- \* 2 市のすべての会計の赤字額から財政運営の深刻度をみる比率
- \* 3 借金の返済額などの大きさから資金繰りの危険度をみる比率
- \* 4 市が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度をみる比率
- \* 5 企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率

**早期健全化基準**  
この基準は、自治体の財政状況の黄信号とされています。上記の4つの比率のうちのいずれかがこの早期健全化基準の数値を超える場合には、財政健全化計画を作成する必要が生じ、自主改善努力が求められます。

**財政再生基準**  
この基準は、自治体の財政状況の赤信号とされています。上記4つの比率のうち将来負担比率以外の比率がこの基準にひとつでも該当すれば財政再生団体となり、財政再生計画を立て、国などの指導の下で財政の再生を図ることになります。

## 6 財政指標

**①財政の余裕状況を見る**  
市にどれだけ自由に使えるお金があるかをみる指標に経常収支比率があります。これは毎年決まって入ってくるお金(経常的収入)が給与や市債の返済などの毎年決まって支払うお金(経常的支出)にどれだけ使われているかの割合を示すものです。平成23年度は90.5%で前年度に比べ2.2ポイント上昇しました。

**②財政力の豊かさを見る**  
市の財政が豊かであるかどうかを判断する指標に財政力指数があります。これは、市税などの標準的な収入で合理的に行政を行った場合にかかる費用をどれだけまかなえるかを表し、過去3年間の平均数値を使います。この数字が「1」に近いほど財政力が豊かであるといえます。平成23年度は0.540で前年度に比べ0.021低下しました。

## 7 平成23年度の主な事業

事業名	決算額	事業名	決算額
収納強化事務	471万5千円	子ども司書養成事業	80万1千円
行政経営推進事業	211万1千円	ひとり暮らし高齢者等見守り事業	492万4千円
郷づくり推進事業	3,426万2千円	地域分別ステーション整備事業	645万1千円
世界遺産登録活動事業	1,513万9千円	住宅用新エネルギー設備等設置補助事業	1,607万円
自治会(区)支援事業	1億213万6千円	松くい虫防除事業	5,600万2千円
古墳公園史跡等購入事業	1億127万4千円	コミュニティサイクル事業	562万8千円
学校運営協議会(コミュニティ・スクール)推進事業	1,208万6千円	道路新設改良事業	8,757万4千円
「こどもの城」整備事業	1億836万6千円	JR福間駅東口駐輪場整備事業	5,502万7千円
学童保育所整備事業	2,435万7千円	福間駅東PRプロジェクト事業	1,074万2千円
福間南小学校校地周辺緑化整備事業	2億7,996万円	福間駅東土地区画整理事業	8,452万円
子育て支援センター運営事業	691万7千円	原町・津丸線有弥の里五差路整備事業	1,270万3千円
発達支援事業	1,444万円	水産基盤整備事業	462万円
乳児家庭全戸訪問事業	402万1千円	農業用施設整備事業	4,788万6千円
乳幼児医療支給事業(単独分)	2,898万6千円	観光産業活性化推進事業	200万円
		福津ブランド推進事業	1,564万3千円